

～史都多賀城～

## 「万葉復興祭」

万葉の灯（鎮魂祭）・アラハバキの灯（希望の光祭）

### 開催趣意書

多くの人たちの人生を一変させた3月11日。大震災にて残念ながら犠牲となってしまいました方々に哀悼の意を表すとともに、自らも被災されながら復旧・復興へ向けご努力されている皆様に心よりお見舞い申し上げます。

日本は今、大変な難局を迎えております。東日本大震災は、あまりにも甚大すぎる自然災害であり、私たち被災地に暮すものが心に大きな傷を残したことはもちろん、日本国民、いや世界中の人々の心の中に大きな衝撃と深い悲しみを与えました。ここ被災地では将来への大きな不安が取れぬ日々と、自らの生活さえ立て直すことが出来ぬ日々が続いております。

しかしながら、この難局を克服するためには、市民をはじめとする日本国中の固い結束の下、復興に全力を傾けなければなりません。困難に負けない日本の文化、祖先から脈々と受け継がれてきた日本人として誇り、その精神性の強さを今將に発揮すべき時であります。

私ども（社）塩釜青年会議所では疲れきった被災者の元気回復を願う「万葉復興祭」と、犠牲となってしまった方の魂を鎮め、慰める「万葉の灯」、そして健康であることに感謝し、苦難に耐えしのび、努力することを学び、心身ともに健やかで、このとりまく環境を乗り越えていこうとする勇気と気概を持ち、未来の我が故郷への明るい「希望の光を！」という強い祈りを込めて「アラハバキの灯」を開催したいと存じます。

いにしえの人々の魂は、どんなに時が流れようともいつも私たちの傍に寄り添ってくれています。過去から現在、未来へと大河のように続き、私たちの心に確かに息づいています。多賀城政庁跡で行う幽玄の舞台を通して、幻想的な空間や、感動と元気を共有することで、「明るい豊かな社会」が後の時代へと繋がっていくと確信します。ご来場いただいたすべての方々に、愛する我が「故郷の灯」を手と手を携え遭いながらしっかりと皆で灯していただけたなら幸いです。

この祭典を挙げるためには、余震対策も十二分に備え、安全には最大限配慮して参る所存です。何とぞ本趣旨をご理解いただき、温かいご支援ご協力を賜りますように切にお願い申し上げます。

主催者

社団法人塩釜青年会議所  
理事長 鈴木 貴資

